

「当事者意識」の欠如はどうして？

D-YCAP 理事
横浜市立大学名誉教授
齊藤 毅憲

ここ 4 年間、住んでいるマンションの管理組合の監事を担当していたが、この 5 月で退任した。

いろいろなことを感じたが、住民の当事者意識が欠如していることが最も大きかったかもしれない。役員の中にも理事会に出席すれば、それで任務を果たしたと思っている人もいるようだが、定期総会は住民の 2 割程度の出席であり、書面による賛成と議長委任で 7 割ぐらいになっている。理事会を信用してもらうことはうれしいが、これでは総会が不要であるようにも思えてくる。

マンションは、建設後「35 年の壁」があり、維持・修繕とそれに必要な財政面の問題を抱えているが、住民は問題の深刻さを十分に感じておらず、当事者意識が欠如している。

もっとも、このような当事者意識の欠如は、ほかにもあるようである。新聞などで、大切な市町村長の選挙結果を見ると、投票率は過去最低であると書かれている。それぞれの自治体は困難な問題を抱えているのに、それには無関心なのであろうか。

